

## ◆ 第1分科会【学校経営】評価・改善 ◆



## 学校課題を解決し、教育の質の向上を図るための学校評価

～学校経営マネジメントを機能させる校長の役割～

片倉和之（川西町立小松小学校）

### 1 はじめに

川西町の小学校は6校で、学校規模は過小規模校1校、小規模校5校である。人口減少が進む状況の中で、地域や学校の特色を生かしながら、教育の質の向上を図っていく、より魅力ある学校づくりが求められている。

また、川西町全ての小中学校は、平成27年度よりコミュニティ・スクールとして運営されている。学校、家庭、地域が連携・協働し、開かれた学校づくりを一層進めていかなければならない。

### 2 研究の概要

学校課題の解決のためには、校長的的確な判断の下に、組織的・継続的に有効な手立てを講じていく学校経営マネジメントを機能させることが重要である。それが教育の質の向上を図る学校経営の姿である。

本研究では、町内各校が抱える学校評価に関する課題を明確にし、学校経営マネジメントを機能させるための学校評価とはどのようなものかを、各校の実践から明らかにしていく。

#### (1) 研究のねらい

学校経営に直結した適切な学校評価の実施や分析、その結果を生かす方法は何かを探る。

#### (2) 研究の方法

##### ① 令和2年度～研究の方向づけ

ア 各校の学校評価の課題の洗い出しと共有

イ 研究の方向性の協議

##### ② 令和3年度～実践と成果・課題の整理

ア 各校の学校評価の成果・課題や改善策の集約

イ 効果的な学校評価にするための視点の設定

ウ 視点に沿った実践事例の整理

##### ③ 令和4年度～研究のまとめ

ア 視点に沿った実践事例の活用

イ 研究のまとめ、成果・課題の共有

### 3 研究の内容

#### (1) 学校経営に生かす学校評価

① 教育目標や重点等の評価方法

② 教育目標等と評価項目の整合性

#### (2) 学校評価のICT化の推進

① 集計等の労力の軽減方法

② 結果の詳細な比較・分析

#### (3) コミュニティ・スクールを機能させるための学校評価

① 学校運営協議会の参画の促進

② 学校と家庭、地域が期待する人間像の整合性

### 4 成果(○)と課題(●)

○教育目標等と学校評価項目の整合性を図ることにより、全ての教育活動のねらいが明確になり、充実した実践になった。

○学校評価事務をICT化することにより、集計にかかる労力が軽減し、結果分析が進み、課題解決に注力することができた。

○学校運営協議会で学校評価の分析と子ども像の議論をすることにより、家庭や地域の参画が進んだ。

●学校評価の結果を踏まえて、学校経営の方向性を判断し、具体的な手立てを講じ、実践していくための研修を深めたい。

### 5 提言

教育活動を活性化する校長の役割として、次の視点を大切にしたい。

(1) 目標と教育活動と評価の一体化を図る学校評価にすること

(2) 教育活動に注力できるように学校評価事務のICT化を進めること

(3) 学校評価を通して家庭・地域の理解や参画を促進する仕掛けをすること